



選手団迎える準備万端

八戸で開始式リハーサル

31日開幕する第80回国民スポーツ大会、青森県大会、青森県アイスホッケー大会の準備が整った。30日、八戸市で開始式の会場となるSG GROUP ホールはちのへ（市公会堂）でリハーサルが行われ、大会実行委員や関係者が一堂に集まり、流れを確認した。（「ハ」に本記）

31日の開始式には、42都道府県の選手団が出場。歓迎アトラクションとして、八戸東高運動部が熱いパフォーマンスで会場を盛り上げるほか、同市小中野に拠点を持つ在日南朝鮮、地元青森県を主戦場に開催する。地元高校生もスタッフとして参加。司会や会場案内、音響隊などを担当する。

リハーサルでは、式典の進行や動線、演奏のタイミングなどを関係者で共有し、本番に備えた。

選手団の代表を務める「フレッドスケート」成年女子の八戸市立東、フライフリーは「大会のスタートとなるので、選手団の活力になるようなパフォーマンス」を込めた。（小嶋孝文）

＜31日の競技日程＞

- ◆フィギュア第1日（フラット八戸）
 - ▷成年女子ショートプログラム 11・20～
 - ＝渡辺倫果（三和建設・法大）、聖前望乃華（東北福祉大）
 - ▷成年男子ショートプログラム 15・20～
 - ＝木村真人（スーパースポーツゼビオ）、尾形広由（八学大）
- ◆ショートトラック第1日（三沢アイスアリーナ）
 - ▷成年男女3000mリレー予選 10・20～
 - ＝青森
 - ▷成年女子1000m予選 11・20ごろ～
 - ▷成年男子1000m予選 12・00ごろ～
 - ＝1組・木村尚貴（五日市青果）、5組・毛利信太郎（サクサ）
 - ▷少年男子1000m予選 12・40ごろ～
 - ▷成年男女1000m準々決勝 13・40ごろ～
 - ▷少年男女1000m準々決勝 14・20ごろ～
 - ▷成年男女1000m準決勝 15・00ごろ～
 - ▷少年男女1000m準決勝 15・00ごろ～
 - ▷成年男女1000m決勝B/A 16・00ごろ～
 - ▷少年男女1000m決勝B/A 16・00ごろ～
 - ▷成年男女3000mリレー準決勝 16・40ごろ～

きょうの青森県勢

【フィギュア】

成年男女のショートプログラムが行われる。青森県勢は、女子に渡辺倫果（青森山田高出、三和建設・法大）、聖前望乃華（工大一高・東北福祉大）が出場する。渡辺は3年ぶりにグランプリファイナルに進出するなど、今大会の優勝候補だ。聖前も実力十分。ノーミスの演技でフリー進出を果たしたい。男子は、2年ぶりに復帰した木村真人（スーパースポーツゼビオ）と尾形広由（八学大）がエントリー。ベテランの木村は円熟味を増した演技で観客を魅了できるか。

【ショートトラック】

青森県勢は成年男子のみの出場となる。初出場となる3000mリレーは予選突破が目標。1000mにはスピードスケート出身の木村尚貴（五日市青果）、毛利信太郎（サクサ）が挑む。

渡辺（高青森山田出）13番、聖前（工大一）18番

成年女子フィギュア滑走順決定

フィギュア競技の監督スズキ健一は、30日、八戸市内で開かれ、ショートプログラム（SP）の滑走順が決定した。青森県勢は、成年女子（31日）のエントリーとなった。今大会は全4カテゴリー、18番目となった。

アイスホッケーは19日は21番目となった。注目選手では、四大륙選手権でミラノ・コルデイナ五輪出場組を下して優勝を飾った青木祐奈（神奈川、MFAアカデミー）が成年女子も番目。全日本2位で、将来を期待される島田麻央（宮城、木下グループ）が少年女子16番目に登場する。（小嶋孝文）